

書牘卷之三（三 往信）

弔帖

以^二書札^一、致^二啓上^一候、御老
父御儀、御長病之^處、御
養生御叶ひなく、去ル
幾日御死去之由、為^二御知^一
ニ預り驚入、御愁傷之
程、御察し申上候、依^レ之、
為^二御香奠^一、目錄之通、差
進し候間、御靈前ニ御
供へ可^レ被^レ下候、何れ^連追日
参上、御弔ひ可^二申述^一候、
草々頓首

註 移徙祝儀帖の往信六行目「と（与）」と同じ書体だが、意味を優先して「候」と読んだ。

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之三（三 返信）

以_二手紙_一致_二啓上_一候、老

父儀、病死之節ハ、御懇

書を以、御叮嚀ニ香奠

御供へ被_レ下、入_二御念_一候段、

忝存候、昨日忌明に及_爾候

ニ付、此段御礼申述候也、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。